

京都府立桃山高等学校長 様

京都府立桃山高等学校学校運営協議会
会長 山 仲 修 矢

令和5年度京都府立桃山高等学校学校運営に関する評価報告について（報告）

このことについて、京都府立学校における学校運営協議会運営要項第5条により、下記のとおり報告します。

記

<p>1 学校評価の成果と課題設定について出された意見</p> <ul style="list-style-type: none">・学校経営計画に沿って順調に教育活動が進められている。・SSHを一つの軸として教育活動の質を高められている。・今後策定されるスクールポリシー（案）に異論はない。今後さらに、教育活動を充実して欲しい。・保護者対象の学校評価アンケートの結果を見ると、学校の実施している教育活動の内容を十分に広報できていないのではないかと感じる。・学校美化、教育環境の整備という面においては、長寿命化工事は学校の評価を下げる要因となっていると考えられる。・在校生の出身地域が広がり、卒業生の進学先も全国各地に拡大する中で、PTAや同窓会の学校支援の在り方も再検討する必要がある。・教育活動を一定の教育水準を確保しながら継続してゆくために、教員の人材確保は喫緊の課題である。
<p>2 成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策について出された意見</p> <ul style="list-style-type: none">・ホームページやSNS等を活用し、在校生の保護者や、志望校を検討している中学生・その保護者に対して、さらに情報提供に努めることが今後求められる。・学校の魅力を高めるためにも長寿命化工事は必要であるが、今後とも安全かつ速やかに工事を進めていただきたい。・PTA、同窓会等学校関係諸団体の力を借りながら教育活動を進めて欲しい。・教員の人材確保の観点から、教員の魅力のアピールは重要となり、そのためには教員の働き方改革に取り組むことは重要である。
<p>3 学校評価を踏まえた今後の対応への意見</p> <ul style="list-style-type: none">・中学生に対する学校の魅力発信については、他校で見られるようなSNSを用いた学校の状況発信が有効であると思われる。これが可能となる仕組みの構築を検討して欲しい。・より一層学校関係諸団体と学校の連携を円滑に行えるよう、取り組みを進めて欲しい。
<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・定時制の生徒数が減少する中で、全定合同で実施できる取組を検討しても良いのではないかな。